

平成27年6月

篠栗町議会第2回定例会 会 議 録

福岡県篠栗町議会

会期日程

(会期：6月4日(木)～11日(金) 8日間)

会期	月	日	曜	会議・休会その他	開議時刻	摘 要
第1日	6	4	木	本 会 議	午前10時	開 会
						<ul style="list-style-type: none"> ・会議録署名議員の指名 ・会期の決定 ・議案の上程(提案理由説明)及び質疑 ・議案の委員会付託
第2日	6	5	金	考 案 日		
第3日	6	6	土	休 会		閉 庁
第4日	6	7	日	休 会		閉 庁
第5日	6	8	月	本 会 議	午前10時	・一般質問
第6日	6	9	火	条 例 委 員 会	午前10時	・付託案件審査
				予 算 特 別 委 員 会		
第7日	6	10	水	予 備 日		
第8日	6	11	木	本 会 議	午前10時	<ul style="list-style-type: none"> ・付託案件委員長報告 ・採決 ・所管事務の閉会中の継続調査の件
						閉 会

平成27年第2回 篠栗町議会定例会 議事日程 第1号

平成27年6月4日(木) 午前10時開議

第1, 会議録署名議員の指名 3番 , 4番

第2, 会期の決定の件

第3, 議案の上程(提案理由説明)及び質疑

第4, 議案の委員会付託について

議案付託表

議案 番号	件 名	付託委員会
34	専決処分の承認を求めることについて(専決第3号) 〔平成27年度篠栗町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)に ついて〕	予算 特別委員会
35	篠栗町立栗の子保育園運営法人選考委員会条例の制定につい て	文教厚生 常任委員会
36	平成27年度篠栗町一般会計補正予算(第1号)について	予算 特別委員会
37	平成27年度篠栗町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)に ついて	予算 特別委員会
38	平成27年度篠栗町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) について	予算 特別委員会
39	平成27年度篠栗町流域関連公共下水道事業会計補正予算(第1 号)について	予算 特別委員会
40	平成27年度篠栗町水道事業会計補正予算(第1号)について	予算 特別委員会

平成27年第2回 篠栗町議会定例会 議事日程 第2号

平成27年6月8日(月) 午前10時開議

第1, 一般質問

質問順位	議席番号	質問者	
1.	10番	松田 國守	議員
2.	2番	田辺 弘之	議員
3.	8番	大楠 英志	議員
4.	4番	山田 眞士	議員
5.	7番	横山 久義	議員
6.	6番	今長谷 武和	議員
7.	12番	荒牧 泰範	議員

平成27年第2回 篠栗町議会定例会 議事日程 第3号

平成27年6月11日(木)午前10時開議

- 第1, 議案第34号 専決処分の承認を求めることについて(専決第3号)
[平成27年度篠栗町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について]
- 第2, 議案第35号 篠栗町立栗の子保育園運営法人選考委員会条例の制定について
- 第3, 議案第36号 平成27年度篠栗町一般会計補正予算(第1号)について
- 第4, 議案第37号 平成27年度篠栗町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について
- 第5, 議案第38号 平成27年度篠栗町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について
- 第6, 議案第39号 平成27年度篠栗町流域関連公共下水道事業会計補正予算(第1号)について
- 第7, 議案第40号 平成27年度篠栗町水道事業会計補正予算(第1号)について
- 第8, 発議第1号 篠栗町自然環境・新エネルギー対策特別委員会の設置に関する決議
- 第9, 常任委員会の閉会中の継続調査の件

平成27年第2回(6月)

篠栗町議会定例会

6月4日(開会)

平成27年 第2回 定例会 会議録

日時 平成27年6月4日 午前10時

場所 篠栗町役場 議事堂

出席議員

1番	古 屋 宏 治	2番	田 辺 弘 之	3番	栗 須 信 治
4番	山 田 眞 士	5番	村 瀬 敬 太 郎	6番	今 長 谷 武 和
7番	横 山 久 義	8番	大 楠 英 志	9番	阿 部 寛 治
10番	松 田 國 守	11番	阿 高 紀 幸	12番	荒 牧 泰 範

欠席議員

地方自治法第121条の規定により出席した者

町 長	三 浦 正	副 町 長	城 戸 清 壽
教 育 長	西 邦 彰	総 務 課 長	大 塚 哲 雄
財 政 課 長	立 花 博 友	会 計 課 長	城 戸 安 行
まちづくり課長	松 田 秀 幹	税 務 課 長	山 口 茂 幸
住 民 課 長	村 嶋 茂 則	健 康 課 長	村 瀬 修
福 祉 課 長	井 上 勝 則	こども育成課長	井 上 伸 一
栗の子保育園 長	阿 部 正 博	産 業 観 光 課 長	黒 瀬 英 三
都市整備課長	三 明 祐 治	上 下 水 道 課 長	八 尋 正 記
学校教育課長	佐 伯 和 久	社 会 教 育 課 長	村 瀬 治 邦

出席した議会事務局職員

局 長	清 原 眞 也	次 長	松 岡 秀 策
係 長	伴 秀 代		

開会午前10時00分

○議長(阿部 寛治) 皆さん、おはようございます。

本日は、全員出席で開議は成立いたします。

ただいまから平成27年第2回 篠栗町議会定例会を開会いたします。

本日の会議を開きます。

本日の日程は、タブレットに掲載の議事日程のとおりでございます。

なお、常任委員会の閉会中の調査結果は、タブレットにメールで送信したとおりでございます。

これより日程に従い、議事を進めます。

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第120条の規定により、議長において、3番、栗須信治議員、4番、山田眞士議員を指名いたします。

日程第2、会期の決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期は、本日から6月11日までの8日間にしたいと思います。

これに御異議ありませんか。

異議なしと認めます。

したがって、会期は、本日から6月11日までの8日間に決定しました。

日程第3、議案の上程をいたします。

本定例会に提出されております議案は、議案第34号から議案第40号までの7議案でございます。

それでは、議案第34号から議案第40号までを一括議題とします。

町長に一括して提案理由の説明を求めます。

三浦町長。

○町長(三浦 正) おはようございます。

本日、平成27年第2回の定例会を招集いたしましたところ、公私とも御多忙の中、御出席賜りまして誠にありがとうございました。

北部九州も6月2日に梅雨入りいたしまして、季節は春から夏へと移っております。町内の田植えも山間地域から順に進み、町の至る所で見ることのできる紫陽花も一雨ごとに生き活きと大きく花開く気配でございます。

こうした毎年の季節の移り変わりの風景に私たちは、抗うことのできない自然の生業の大きさを感じております。

平成21年7月の豪雨災害から6年が経過いたしました。

一の瀧地区の災害復旧工事も、来年度まででほぼ完了する見込みでございます。

今年も広報ささぐり7月号で、災害から身を守るための防災特集を組むことになっております。災害はいつ起こるかわからない。これからも災害の怖さを風化することのないよう、備えを万全にしていかなければなりません。

山村武彦先生に教えていただいた、災害時における『自助、近助、共助、公助』の連携の必要性を伝え続け、自主防災組織の取組みの中で、さらなる地域の連帯が進むよう取組んでまいります。

職員は、本日午後、災害発生時における対応手順を確認するための災害対策本部設置運営訓練を行うこととしております。

さて、議案の説明に入ります前に、3月定例会以降の諸情勢を報告いたします。

5月30日に第66回福岡県植樹祭が筑前町で開催されましたが、その会場において、第1回福岡県木造・木質化建築賞表彰式があり、小川知事から直接、優秀賞の表彰を受けました。これが表彰状でございます。ヒノキの縁と杉板に文面が書かれた表彰状でございます。

これは、庁舎の玄関にしばらくの間、掲示することといたします。

教室の木質化を通じて、教育環境の向上を図るとともに、篠栗町の森林で育まれた原木を用いて製材した地域産材を有効利用することで、持続的な森林づくり、大工仕事の継承も包括的に考慮した篠栗町独自の学校木質化事業が高く評価されたものでございます。

これもひとえに、議会の皆様方の深い御理解のたまものであると感謝申し上げますとともに、今年度も含め、あと8年間にわたる継続事業を完成させるために、引き続き御理解と御協力をお願い申し上げます。

去る6月2日の福岡県町村会理事会において、福岡県町村会理事の職を拝命いたしました。

同日の臨時総会において、永原大任町長が、福岡県町村会長に就任されました。

「32町村が互いに協力し合って、地方創生に基づく地方自治体の自立実現に向けて努力していこう。」と力強い決意を述べられたことを御報告いたします。

私も微力ではございますが、理事として、福岡県町村会の更なる発展のために精一杯努める所存でございます。

全国各地で統一地方選挙によって、行政、議会が新体制となる中で、ガバナンス5月号に「新体制と自治体のガバナンス」という特集が組まれておりました。

その中で、「首長の姿勢として、議会の向こうの住民を見ることこそ重要である。議案はあくまでも議案であり、議会において改変され、住民の意向を踏まえて修正が加えられることは何より重要であり、議会において、議員発議により条例の制定などに取組まれることもまた、我が国、地方自治制度が想定している議会本来の姿であるはずだ。」という記事がございました。

まさにそのとおりであると考えます。

5月25日開催の平成27年度まちづくり住民説明会において、私は「今後は、これまで以上に町民の皆様との対話を重視して行政運営にあたりたい。」と申し上げました。

全国で初めて議会基本条例を制定された北海道栗山町議会の橋場利勝元議長も『住民に信頼される議会とは』というインタビューに答えて、「住民参加をしっかりと、議会も取入れていくことだ。住民と意見を交換し、良い提案や意見は議会の中に生かしていく。住民との対話を積極的に進めていかなければ、住民に信頼される議会にはならない。私は議長のとときに、『議会が変われば町も変わる』と言った。議会基本条例のとおり、きちんと議会運営ができれば、町も確実に変わっていくと思っている。」と述べられてあります。

私は就任以来、努めて町民の皆様には説明責任を果たしてきたと自負しておりますが、今後はもう一步前進して、住民の皆様との対話を重ね、町民の皆様の多くの視点を咀嚼しつつ、篠栗町の自治の発展に向けて邁進してまいりまいる所存でございます。

議会におかれましても、町民の皆様との対話を重視され、更に開かれた篠栗町議会を目指していただきたいと願っております。共に、篠栗町民の皆様のために頑張ってまいりましょう。

それでは、本定例会に提案しております、議案第34号から議案第40号までの7議案について説明をいたします。

議案第34号は、専決処分の承認を求めることについて（専決第3号）であります。

本議案は、平成27年度篠栗町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について、地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分を行ったために、同条第3項の規定により、これを報告し承認を求めるものであります。

補正予算の内容は、平成26年度の同会計予算に歳入不足が生じたことに伴い、平成27年度の予算歳入を繰上げて措置するため、前年度繰上充用金8,500万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ37億5,779万5,000

円とするものであります。

議案第35号は、篠栗町立栗の子保育園運営法人選考委員会条例の制定についてであります。

本議案は、篠栗町立栗の子保育園の今後の運営について、これまでの庁舎内検討を基に、学識経験者等で構成する栗の子保育園民営化検討委員会に諮問し、民営化が有効であるとの答申を受け、民営化への移管運営法人の選定についても、学識経験者等の意見を聞くため、篠栗町立栗の子保育園運営法人選考委員会条例を制定するものであります。

議案第36号は、平成27年度篠栗町一般会計補正予算（第1号）についてであります。

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億8,251万8,000円を追加し、予算の総額をそれぞれ94億9,937万5,000円とするものであります。

まず、歳入については、地方交付税といたしまして、普通交付税7,161万1,000円。国庫支出金といたしまして、社会保障税番号制度カード委任事務交付費整備補助金1,090万7,000円。繰越金といたしまして、前年度繰越金1億円を増額補正するものであります。

次に歳出につきましては、総務費において、財産管理費といたしまして、九大演習林用地の購入に掛かる経費1億4,321万3,000円。情報システム管理費といたしまして、社会保障税番号制度委任事務交付金1,090万7,000円。人事異動による人件費といたしまして1,063万7,000円を増額補正し、他会計繰出金765万4,000円を減額補正するものであります。

そして、債務負担行為につきましては、糟屋南部消防組合分担金及び須恵町外二ヶ町清掃施設組合分担金のうち、平成26年度地方債元利償還金について、債務負担行為を行うものであります。

議案第37号から議案第40号までの4議案は、人事異動による人件費の補正であります。

議案第37号は、平成27年度篠栗町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）についてであります。補正総額は、133万6,000円の減額補正であります。

議案第38号は、平成27年度篠栗町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）についてであります。補正総額は、631万8,000円の減額補正であります。

議案第39号は、平成27年度篠栗町流域関連公共下水道事業会計補正予算（第

1号) についてであります。補正総額は、6万8,000円の増額補正であります。

議案第40号は、平成27年度篠栗町水道事業会計補正予算(第1号) について
であります。補正総額は、367万4,000円の増額補正であります。

以上が、本定例会に提案いたしました議案の提案理由でございます。

慎重審議方よろしく願います。

○議長(阿部 寛治) ただいまの提案理由の説明に対して、大綱質疑を行います。

質疑はありませんか。

ないようですので質疑を終わります。

日程第4、議案の委員会付託についてを議題といたします。

議案第34号から議案第40号までの7議案を一括議題といたします。

お諮りいたします。

議案第35号につきましては、議案付託表のとおり、所管の文教厚生常任委員会
に付託したいと思っております。

また、議案第34号の専決予算及び議案第36号から議案第40号までの補正予
算の計6議案につきましては、議長を除く11人で構成する予算特別委員会を設
置し、これに付託したいと思っております。

これに御異議ありませんか。

異議なしと認めます。

よって、そのように付託することに決定しました。

なお、予算特別委員会の正副委員長については、申し合わせにより、委員長は、
5番、村瀬敬太郎議員。副委員長は、6番、今長谷武和議員です。

最後に、報告1件については、9日の予算審査終了後に全員で報告を受けたいと
思います。

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

これをもちまして、散会といたします。

散会 午前10時17分